

木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(24年7月分)

1. 調査実施期間 平成24年 6月20日 ~ 7月10日
2. 調査実施方法
東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
7月分の回答企業数は 34社、回収率は 87.2%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

$$\text{Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス)} = \{(\text{「増加」の評価を行った回答の割合}) \times 2 + (\text{「やや増加」の評価を行った回答の割合}) - (\text{「減少」の評価を行った回答の割合}) \times 2 - (\text{「やや減少」の評価を行った回答の割合})\} \div 2$$

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		24/7月	24/8月	24/9月
仕入動向	国産材	0.0	-20.0	0.0
	外材	10.9	-18.8	1.6
販売動向	国産材	4.0	-26.0	-2.0
	外材	-4.7	-28.1	0.0
在庫動向	国産材	-2.1	-18.8	-6.3
	外材	1.6	-11.3	-8.1

仕入れは、盆休み、先行き不透明感もあり、国産材は8月のマイナスをはさみゼロ、外材は8月のマイナスを挟み若干のプラス。
販売は、国産材、外材とも8月のマイナスをはさみ小さなプラス~小さなマイナス。
在庫は、先行き不透明で8月、9月は国産材、外材ともはマイナス基調。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	24/7月	24/8月	24/9月
スギ正角(グリーン)	0.0	0.0	0.0
スギ正角(KD)	-2.8	0.0	0.0
ヒノキ正角	-2.6	0.0	0.0
ヒノキ土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ正角(現地挽)	0.0	0.0	0.0
米ツガ防腐土台角	2.9	0.0	-2.9
米ツガ割物(現地挽)	0.0	-3.1	-3.1
米マツ平角	-2.8	0.0	0.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	-7.9	0.0	0.0
ホワイトウッド集成管柱	-9.5	4.8	2.5
レッドウッド集成平角	-3.1	3.1	3.1
型枠合板(輸入)	-3.3	3.3	10.7
針葉樹構造用合板	-12.5	-6.3	6.7
針葉樹構造用合板(厚物)	-12.5	-6.3	6.7

スギ正角(グリーンは横ばい、スギ正角(KD)は少し弱い)が9月に向け横ばいに、ヒノキ正角はやや弱い、9月に向け保合いに、ヒノキ土台は横ばい。
米ツガ土台、米ツガ正角(現地挽)、米ツガ割物(現地挽)はとも保合ないしやや弱保合で推移。
米マツ平角は、やや弱保合ないし保合で推移。
北洋アカマツタルキは、弱い、9月に向け弱保合に。
WW集成管柱、RW集成平角とも弱い、9月に向け保合ないしやや強保合に。
合板は全体的に弱い、9月に向け回復し強保合に。

1. 荷動き	
仕入れ動向	<p>北米、アラスカ SP の出材状況が一向に改善されず、国内での不足感はピークに達している。今後の出材増も望めないことから少量の原料を取り合う状況が続くものと思われる。(東京：米材問屋) 産地価格は若干上昇するも、為替の高止まりで仕入れ価格に変化なし。本来なら出材最盛期だが中国勢の買い付けが旺盛なため入荷は増えない。(東京：米材問屋) 7月は少し仕入れを増やす予定。(東京：集成材等問屋)</p> <p>プレカット工場の6月受注は、やや増加したが7月は、また減少傾向。先月同様、北欧材の羽柄材は入荷少なく、国内の再割で対応。(東海：外材問屋) 産地工場の維持が厳しい状況。(東京：広葉樹等問屋) 入荷は順調で仕入れのタイミングとしてはベスト。現地価格は弱含んでいる。(東京：南洋・中国材問屋) 産地は良材原木少なく高値保合の相場。インドネシアでは、ルピアが下がり若干安値も見られる。(東京：南洋・中国材問屋) 仕入れを必要な材だけにした。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>スギ柱角良材が品薄。(東京：国産材問屋) 荷動き悪いので仕入れは控えている。要るもの以外は買わない。(東京：国産材問屋) 国産材、外材共に当用買いに留める。(東京：国産材問屋) 売れ行き悪く、仕入れ少なくなる。(東京：国産材問屋)</p> <p>マツ・ミツガが特に良材少なく困っている。(東京：仲買・小売)</p> <p>プレカットの仕事が入り、仕入れを2カ月続けて増加。(大阪：仲買・小売)</p>
販売動向	<p>米マツ一般材丸太は、京浜マーケットではカスケード系丸太のみ荷動き好調で、コースト材のマーケットは消滅した。(東京：米材問屋) 輸入半製品の売れ行きは好調であるが注文材・既製品挽立材の販売が伸びてこないため採算面では厳しい状況続く。全く在庫の無いものに対し安いものをとの注文。(東京：米材問屋) 7月は通常売り上げが期待できそう。(東京：集成材等問屋) 悪い。(東京：外材問屋) 7月に入っての期待感もあったが動きは良くない。(東海：外材問屋) 構造材の先物は再びやや下落。(東海：外材問屋) 秋需までは販売不振が続くそうな気配。(東京：広葉樹等問屋) 顧客の動き悪い。価格面でも安値一本やりで採算合わない。(東京：南洋・中国材問屋) 造作材の荷動きが悪く平割、集成材共に低調。(東京：南洋・中国材問屋) 小口の注文ばかり。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>公共施設の寮の造作用のスギ上小の大量注文が入った。(東京：国産材問屋) 構造材の荷動きは悪い。造作材の注文材の動きは良い。(東京：国産材問屋) 造作材の動きもかなり悪い。(東京：国産材問屋)</p> <p>耐震工事のリフォームしか無くなり、売り上げ激減。(東京：仲買・小売) 新築が重なり動きは良好、大きな現場は予算が厳しいのがほとんどだが、細かい現場ではロスの少ない良材を求められることが多くなった。(東京：仲買・小売) 戸建ての動向は横ばいの上、現場が遠い傾向。ゼネコン関係物件の動きは感じるが遅れもありこれからの印象。リフォーム部もここに来て好調の様子。(東京：仲買・小売) 荷動きは良い。(東海：仲買・小売)</p> <p>春に比べ少しだけ回復してきたが、一部企業を除き売り上げ厳しい。夏から秋にかけても期待持てない。(大阪：仲買・小売) プレカットやリフォームが多くなったため売り上げ増。(大阪：仲買・小売) 7月は新築現場があり、少し忙しくなりそう。(大阪：仲買・小売)</p>
在庫動向	<p>京浜マーケットでの米マツ一般材丸太では、5月、6月の本船入荷が続いたことから、問屋の手持ち在庫が増加している。(東京：米材問屋) 入荷即完売でSPの在庫は全く無く、次の入荷は9月か10月?(東京：米材問屋) 在庫は前月同様、増やさない。(東京：集成材等問屋)</p> <p>米加材は在庫多い。(東海：外材問屋)</p> <p>出荷は悪く在庫は増えている。(東京：南洋・中国材問屋) 出た分、入るとの感で、大きな増減はない。(東京：南洋・中国材問屋) 在庫は、ほぼ適正。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>出入りが多いので在庫は横ばい。(大阪：仲買・小売)</p>
2. 価格動向	
スギ正角	<p>外材から内地材に移る傾向がある。(東京：国産材問屋)</p> <p>変化なし。(東海：外材問屋)</p> <p>全般に安定。(大阪：仲買・小売) ここ数ヶ月市場の柱、土台等が大量増加、スポットで安値商品が売られている模様。(大阪：仲買・小売)</p>
ヒノキ正角 土台角	<p>変化なし。(東海：外材問屋) 全般に安定。(大阪：仲買・小売)</p>
ミツガ	<p>変化なし。(東海：外材問屋) 全般に安定。(大阪：仲買・小売)</p>
米マツ平角	<p>集成材が下がると米マツも下がるという悪循環。(東京：外材問屋) 変化なし。(東海：外材問屋)</p> <p>全般に安定。(大阪：仲買・小売)</p>
北洋アカマ ツタルキ	<p>値下げ傾向。(東海：外材問屋)</p> <p>全般に安定。(大阪：仲買・小売)</p>
WW・RW 集成材	<p>7月が底値か、間柱等は品不足で値上げしてくると思われる。(東京：集成材等問屋) RWは史上最安値だが、更に弱含み。(東京：外材問屋)</p> <p>WWは国産管柱1,500円/本(1,400円台後半も出ている)、RWは国産平角46,000円~46,500円/m3で共に弱含み。(東海：外材問屋)</p> <p>全般に安定。(大阪：仲買・小売)</p>
合板	<p>針葉樹構造用やや下げて800円/枚、厚物2,000円/枚。(東海：外材問屋)</p> <p>針葉樹合板は「問屋の特価」が翌月の標準価格となることが3カ月続いた、いつになったら反発するのか。(東京：仲買・小売) 針葉樹が弱い。(東京：仲買・小売)</p> <p>全般に安定。(大阪：仲買・小売)</p>